

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	星とたんぼぼ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	R8.1.28	～	R8.2.28
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R8.1.28	～	R8.2.7
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8.3.6		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の評価に基づいて、個別の支援をしているところ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの観察評価に、かなりの時間をかけ、あらゆる面から包括的に子ども達を見ていくこと。 ・子どもの問題行動について、あらゆる面から原因を探り、その原因の改善に努めること 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも、今まで同様、子ども達の行動を観察、評価、分析する。 ・一人ひとりの実態、家族（本人）の思いに応じたオーダーメイドの支援を続けていく事。
2	一人で考え込まない。チームで考えること	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、時間をかけて、朝礼、反省会を行っている。 ・担当でも、一人で支援するのではなく、色々な支援者が支援することによって、気づきや有効な支援について、皆で話し合い進めている。 ・問題行動があった時、○○ちゃん会議をすぐに行い、チームで考えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも、この時間や体制を大切に、一人ひとりの事について、皆で関わるという姿勢を持ち続ける。
3	専門の先生が、顧問や理事でいるので、何でも専門的なアドバイスが受けれること。	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、各事業所で悩みを話し合い、その中でもわからないことについてコンサルや勉強会に出すようにしている。いろいろ工夫して試したことがあるので、より、アドバイスが入りやすい。専門家の見地からのアドバイスは、行き詰った事業所内だけの話し合いではなく、とても学びになるし、子ども達にとっても有効であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、自分たちで解決できることと、そうではないことを見極め、相談をしていきたい。また、各事業所内で、同様のアドバイスができる職員を見つけ、まずは、そこに相談する等の体制を整えたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事務時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのオーダーメイドの支援計画の上に、皆で共有することが大切であるし、今後の指導のためにも詳しい記録を書いているため、事務時間を確保することが困難。また、一人一人に合ったツールを作成するのに時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しかし、これは大切なことなので、できるだけ事務時間を確保ができるよう、職員をたくさん配置する等して、事務時間の確保に今後も努力していきたい。
2	非常勤職員との情報の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内のラインを活用し、必要なことは、その日の内に流しているが、事務連絡的なものになることが多く、会議などでは共有しているが、ニュアンスが伝わりにくいこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の時に事務連絡に終わらず、特に子どもの支援、家族の事は丁寧に伝える工夫をしていく。
3	子どもに合わせた構造化や支援の在り方の家庭との共有	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に家庭に入って、構造化を行ったこともある。が、それを引き継いでいく事、また、継続してしていくことが困難と感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生までの放デイなので、子どもに必要な支援や構造化を家庭でも自立してできるようにしていくために、最初は一緒にしていながら少しずつ自立に向けて行けるように計画的にしていきたい。